



整備が進む海水浴場

CONTENTS

- 平成9年度村の予算
- 過疎地域に公示
- ふるさと総合センター
- 農業委員会から
- カメラアイ
- 川柳北緯41°
- 特集デイサービス
- 保健コーナー
- お知らせ情報局
- 役場人事異動
- 行事予定
- みつけた
- 戸籍の窓口

広報



1997 No.263

の充実をめざして

着工、ふるさと総合センター建設

一般会計予算は、29億7,800万円に（前年度比36%増）



八戸 良次郎 村長

平成9年度施政方針

村長に就任十年が過ぎようとしています。豊かで活力ある村づくり、民生の安定を願い、行政を進めて参りました。

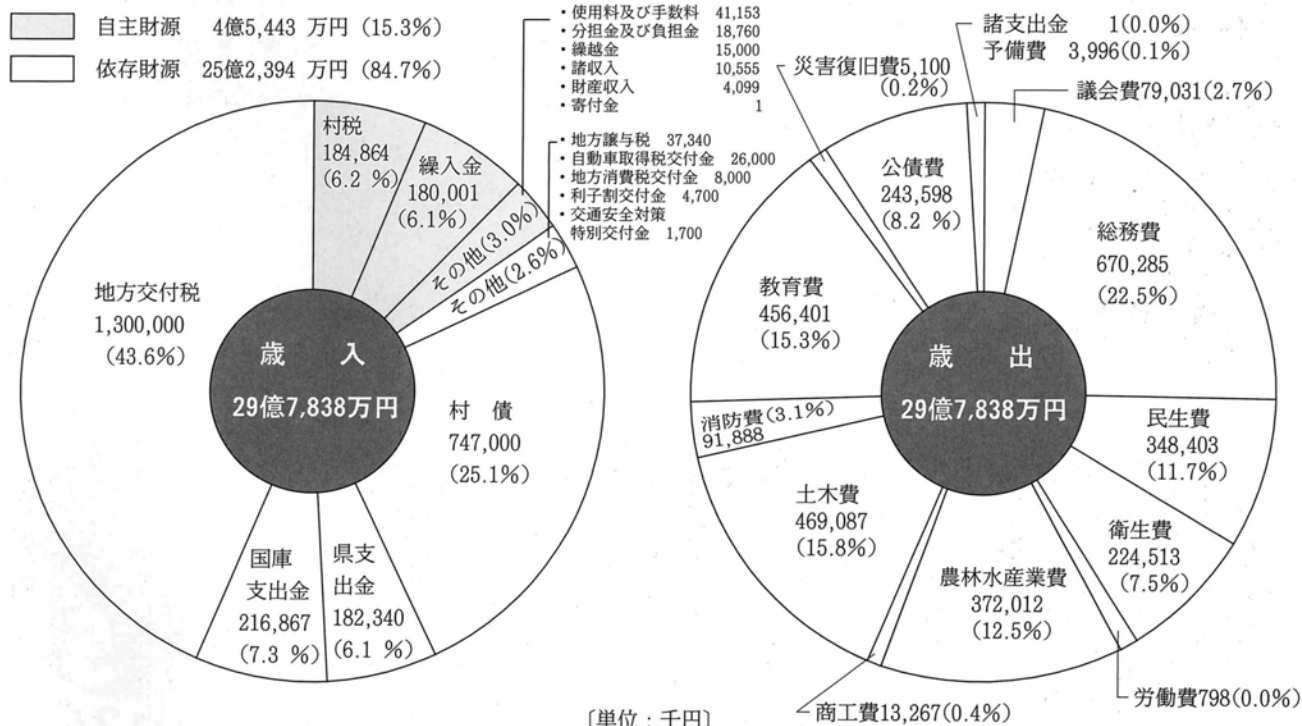
その間、村民各位、村議会、県、国の多大なご援助、ご協力、ご指導を賜りながら平成九年度を迎えることができましたことは、誠に感慨深いものがあります。

今後とも更に心を引き締め、事故、事件を未然に防ぎ、職員一体となって行政を進めて参ります。

今日までの行政を考えてみると、私は第一義的に、わが村の産業基盤の整備に重点をおいて進めてきましたが、他町村に劣っているところもたくさんあると思います。

自主財源の乏しいわが村ではありますが、よもぎ温泉の完成、玉松台周辺を含むコースタル・コミュニティ・ゾーン計画の実施、野球場、公園、漁港、農免農道などの整備、福祉対策として特別養護老人ホームの誘致に力を入れてきました。

今後は、これらの適切な管理運営と、極めて



環境整備

簡易水道工事

平成9年度

効率的な利用を考えていきます。すなわち、村の財産、税金であることに思いを寄せ大事に致します。

また、県、国のご援助を得ながら福祉対策、教育の向上、上下水道の整備、農林漁業の振興はもちろん、中学校の大規模改築、保健福祉、社会教育の拠点となるふるさと総合センターの建設に取り組んでいきます。これらの事業を進めるにも財源の確保が最大の課題であります。村行政改革大綱に基づく諸施策を忠実に守り、他町村におくることがなく行政を進めていきます。しかし、「言うは易く行うは難し」でありますが、理事者、職員一体となって、村発展のために、一層の努力をいたす決意であります。何とぞ、今まで以上のご協力をお願いいたします。

平成9年度 主な事業と予算 (単位:千円)

議会費 〔79,031〕	2.7%	・議員報酬等44,319・議会だより916
総務費 〔670,285〕	22.5%	・ふるさと総合センター工事費294,000・文書費3,627 ・財産管理費19,210・交通安全対策費2,674・広報費3,947
民生費 〔348,403〕	11.7%	・老人福祉費95,548・社会福祉施設費94,151 ・防犯対策費2,116・児童手当4,865 ・保育所費74,212
衛生費 〔224,513〕	7.5%	・環境衛生費88,563・老人保健事業費26,003 ・ふれあいセンター費40,891・簡易水道特別会計繰出金26,063・母子衛生費6,113
労働費 〔798〕	0.0%	・労働者協議会補助金100
農林水産業費 〔372,012〕	12.5%	・農業委員会費38,297・畜産業費16,850 ・団体宮坂元地区農道整備45,652・県宮郷沢地区農道整備12,558・県宮中沢、長科地区担い手育成基盤整備33,629・県宮蓬田、瀬辺地漁港改修19,000
商工費 〔13,267〕	0.4%	・商工会補助金900・簡易小口資金特別保証貸付金2,000 ・観光協会補助金3,500
土木費 〔469,087〕	15.8%	・中沢川改修39,000・広瀬1-1号線流雪溝設置15,000 ・玉松園カントリーパーク189,628・広瀬1-1号線特殊改良20,309・広瀬高根橋架替95,050・除雪機械購入28,251
消防費 〔91,888〕	3.1%	・防火水槽設置9,140・サイレン設置1,081 ・広域消防負担金58,694
教育費 〔456,401〕	15.3%	・中学校大規模改修200,000・小学校費63,329・幼稚園費25,768 ・公民館費28,472・玉松台スポーツガーデン管理費6,312 ・給食センター特別会計繰出金30,126
災害復旧費 〔5,100〕	0.2%	
公債費 〔243,598〕	8.2%	・元金159,207・利子84,391
諸支出費 〔1〕	0.0%	
予備費 〔3,996〕	0.1%	

●特別会計予算 13億6,260万円

区分	予算額	伸び率
国民健康保険	2億9,881万円	14.5%増
老人保健	4億1,414万円	5.2%増
給食センター	4,539万円	1.1%増
簡易水道事業	6億426万円	-

伸び率は、前年度当初予算対比

国民健康保険

国民健康保険会計は、前年度比14・5%増の2億9、881万円。保険税1億3、551万円、国庫支出金、一般会計からの繰入金などを財源に、保険給付費や老人保健への拠出金などに充てます。

老人保健

老人保健会計は、前年度比5・2%増の4億1、414万円。支払基金交付金や国庫支出金、一般会計からの繰入金などを財源に、医療給付費、医療費支給費などに充てます。

学校給食センター

学校給食センター会計は、前年度比1・1%増の4、539万円。給食費負担金を一般会計からの繰入金などを財源に、給食の材料費やセンターの運営費などに充てます。

簡易水道事業

簡易水道事業会計は、今年度から新設され、6億426万円。国庫支出金、一般会計からの繰入金などを財源に、工事の設計管理費や取水、浄水施設の工事費などに充てます。

平成9年4月1日

過疎地域に公示される

過疎地域とは？

過疎地域活性化特別措置法（過疎法）に過疎地域の要件が定められており、次の人口、財政力に係る要件に該当する自治体が指定されます。

▼人口に係る要件

- ① 国勢調査に基づく、二十五年間の人口減少率が二五%以上。
- ② 人口減少率が二〇%以上で、六十五歳以上人口の比率が一六%以上。
- ③ 人口減少率が二〇%以上で、十五歳以上十九歳未満

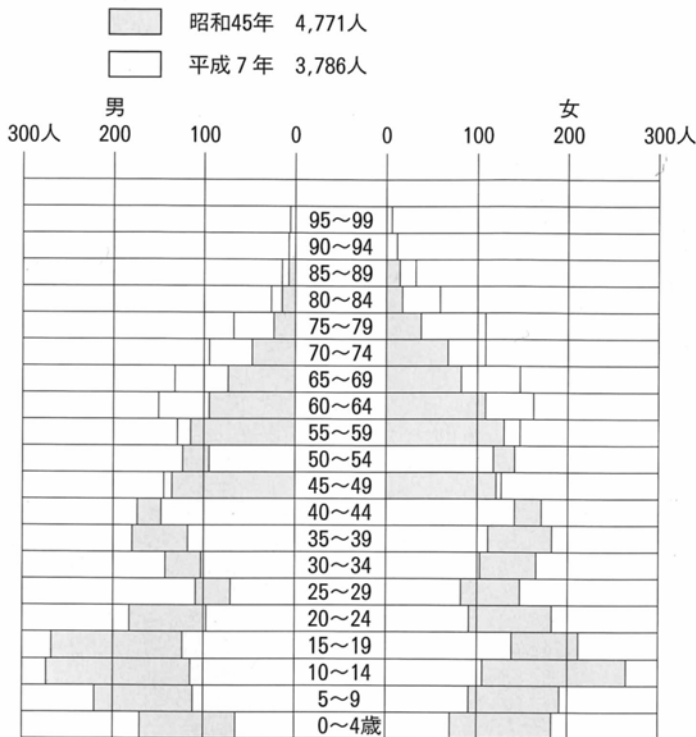
人口の比率が一六%以下。

▼財政力に係る要件

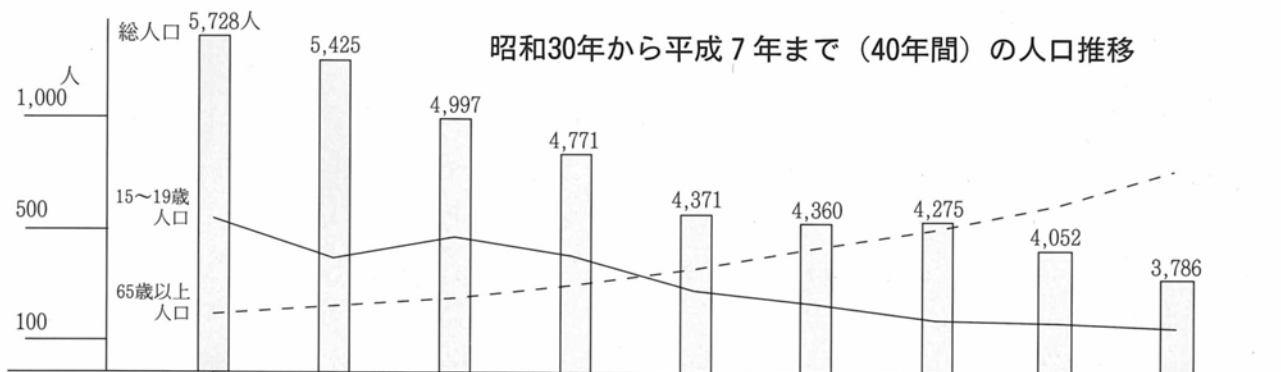
④ 三年間の財政力指数の平均が〇・四四以下。
わが村は、昭和四十五年から平成七年国勢調査までの二十五年間で、人口減少率二〇・六五%（九百八十五人減）、高齢者比率二一・三二%（六十五歳以上人口、八百七人）、財政力指数の平均が〇・一四九で要件に該当します。

県内の過疎町村は、本村と金木町が追加指定され、三十町村となり、初めて五十九町村の半数を超えました。

（資料：国勢調査）



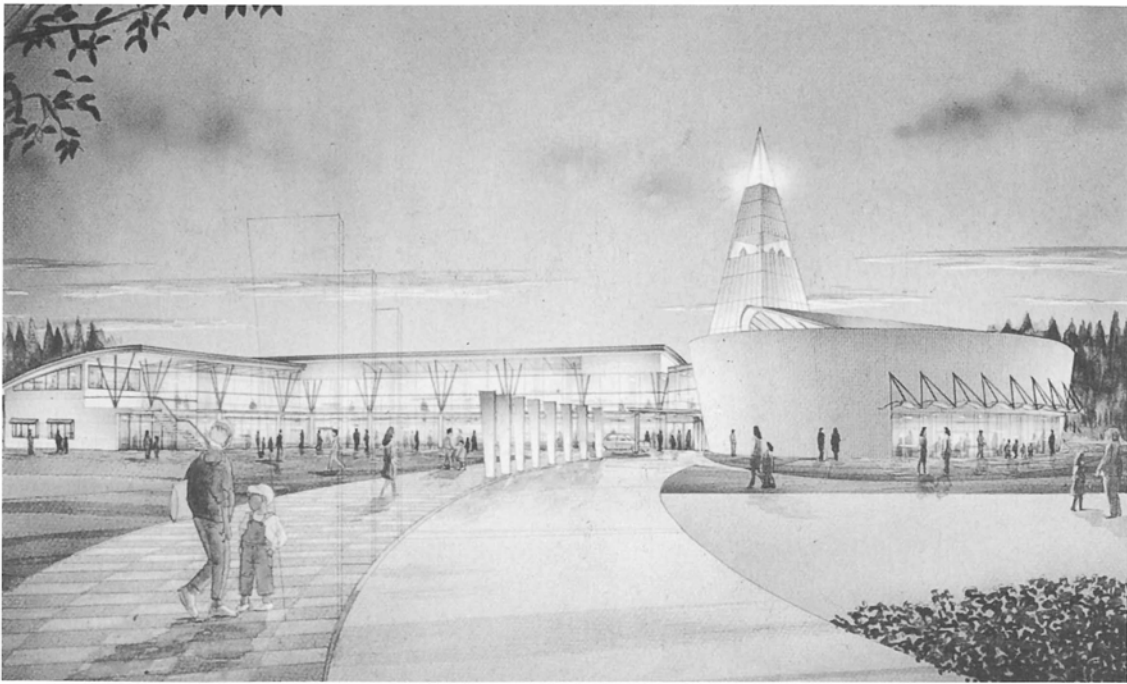
年齢階級男女別人口



区分	昭30 (1955)	35 (1960)	40 (1965)	45 (1970)	50 (1975)	55 (1980)	60 (1985)	平2 (1990)	7 (1995)
総数	5,728	5,425	4,997	4,771	4,371	4,360	4,275	4,052	3,786
男	2,888	2,688	2,490	2,345	2,066	2,078	2,024	1,929	1,804
女	2,840	2,737	2,507	2,426	2,305	2,282	2,251	2,123	1,982
65歳以上	241	260	302	380	442	506	592	668	807
15~19歳	618	417	535	480	374	352	272	283	263

蓬田村

ふるさと総合センター



基本設計競技採用 完成予想図

平成八年度、設計事務所四社により設計競技を実施した、ふるさと総合センターの基本設計が決定しました。九年度と十年度の二カ年計画で、よもぎ温泉北東側に建設予定のセンターは、各種集会、保健福祉、社会教育、芸術文化の活動拠点施設です。

入りやすい、親しみやすい、使いやすい、村民が魅力を感じる、二十一世紀へのふるさとづくりを目指した施設です。

主な施設概要

(鉄骨造、二階建)

- ▼保健福祉
 - ・乳幼児健(検)診室
 - ・機能訓練室
 - ・障害者作業室
- ▼社会教育・芸術文化
 - ・多目的ホール(300人収容)
 - ・茶室
 - ・図書室
 - ・コンピュータ室
- ▼事務室
 - ・社会福祉協議会
 - ・教育委員会
 - ・保健婦活動

「労働バンク」アンケートの結果

村農業委員会が、平成8年11月に行った、労働バンクアンケートの結果がまとまりましたので、お知らせします。

この調査は、現在、村内で複合経営による安定所得の向上を目指す農家が増えている中で、家族だけの労力で間に合っているのか、また、働きたいが仕事を探せない人が何人いるのかを把握し、今後の農業発展に役立てることを目的としています。

調査結果は、回答した451戸(45%)の農家、漁家のうち、労力不足で人を頼みたいと答えた方が56戸、仕事をしたい(労力を提供したい)方が68人あり、この方々が労働バンクに登録を希望しています。

農業委員会では、今後、登録希望者を対象とした説明会を開催してまいります。

【お問い合わせ先】

蓬田村農業委員会 事務局

☎ (内線 2555)

地区名	項目	戸数	回答数	登録する	労力不足だが登録しない		登録しない
					労力不足	労力提供	
中 沢		131	58	21	13	8	35
長 科		106	68	20	13	7	45
阿弥陀川		184	100	25	11	14	72
蓬 田		139	76	19	4	15	57
郷 沢		98	19	14	7	7	4
瀬 辺 地		149	58	9	1	8	49
広 瀬		144	30	8	1	7	19
高 根		51	42	8	6	2	33
計		1,002	451	124	56	68	314

カメラ



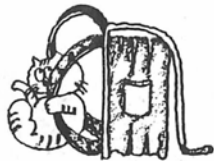
アイ

新入学おめでとう

4月7日、蓬田小学校及び蓬田中学校で入学式が行われました。

今年新しく小学校に入学した児童は、34人（男21人、女13人）。中学校には、42人（男21人、女21人）の新1年生が入学しました。

また、蓬田幼稚園の入園式は4月8日に行われ、園児24人（男8人、女16人）が、元気いっぱいに新しい生活のスタートをきりました。



交通安全マスコット配布



春の交通安全運動（4月6日から15日）実施中の4月10日（木）、蟹田地区交通安全協会蓬田支部（坂本登会長）は、村交通安全母の会（山館洋子会長）や、坂本昭巳助役、津島鐵男村議会議長、鎌田幸造蟹田警察署長など関係者30名が玉松海水浴場前の国道でマスコットとチラシを配布し、安全運転を呼び掛けました。

今回配布したマスコットは、蓬田地区母の会が作った、100個で、組みひもを輪にして鈴を付けたかわいい物でした。

災害に備えて



4月6日、村消防団（吉田初男団長）が春季火災予防演習を実施しました。

訓練は、「午前8時28分、中沢地区交通安全公園付近より火災発生」の想定で行われ、ポンプ車で出動した団員125名が火災現場に到着。地域住民が見守る中、きびきびした動作で消火活動にあたり、日ごろの訓練の成果を発揮しました。

演習終了後、ポンプ車で村内をパレード、毎戸にチラシを配布し、火の用心を呼び掛けました。

春は空気が乾燥し、火災が起りやすく、農作業などで家を留守がちにします、火の元を十分確認してから出掛けましょう。

たいきょくけん 太極拳講習会

太極拳の講習会が3月10日と12日の2日間にわたり、農業者トレーニングセンターにおいて開催されました。この講習会は、村の健康づくり事業の一環で行われたもので、村内で太極拳が紹介されるのは初めてとあって、31名が参加しました。

中国に伝わる太極拳は、古来は武術でしたが、現在は「気功（呼吸法）」に趣をすえた健康体操的な感じで、動きはゆっくりしています。実際、無理のない動きが参加者も心地よかったようで「身体全体の凝りがとれ軽くなった」、「こういう無理のない動きだったら続けられそう」等の声が聞かれました。



子ども会リサイクル活動



4月20日（日）、村子ども会育成連絡協議会（坂本勇一会長）では、古新聞や古雑誌、空きビンなどのリサイクルを目的とした、回収活動を行いました。

参加した子どもや育成者約200名は、朝8時から各家庭より協力された資源ゴミをトラックで回収し、玉松海水浴場駐車場に運びました。

集められた古新聞などは、青森市内の業者に買い取ってもらい、子ども会活動に役立てます。

また、各地区では、道路脇に捨てられた空き缶やゴミを拾う環境美化活動も行いました。

この活動は、春と秋の年2回行っています。

● 日が沈み 居酒屋の灯が 招いてる
● 縄のれん おいておいてと 風に揺れ
● 居酒屋で 財布に聞いた 酒の味
● 居酒屋に 昨夜の醜態 聞いて飲み

増吉 お富 昭夫 節子

● 居酒屋の のれんぐぐれと 札しゃべる
● 同じ酒 のれんぐぐれば 味違う
● 縄のれん 愚痴を肴に 午前様
● 居酒屋の のれんぐぐれば みんな友

年栄 治郎 富栄 咲子

へール・ポップすい 星を見ましたか。
夜、陸奥湾沖では、
こうなご漁のいさり火
がまぶしいです。

デイサービスセンター・在宅介護支援センターは 在宅福祉を支える拠点です

平成九年四月一日、特別養護老人ホーム蓬生園が開園しました。蓬生園は定員五〇床のベッドを持つホームで、寝たきりや痴呆等により、日常生活全般に介護を必要とする方をおあずかりしています。

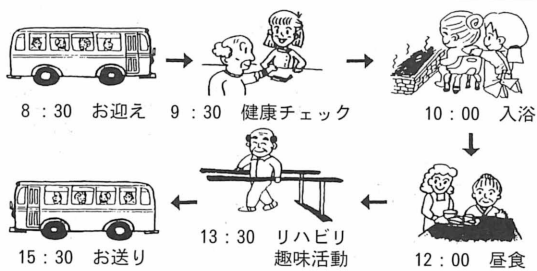
施設は終日にわたり機能しているというメリットを活かし、地域の在宅福祉を支える拠点施設としての大きな役割を担っています。そのため施設には、在宅福祉を支える三本柱として

①ショートステイ専用ベッ

ト十床（短期間あずかり）
②デイサービスセンター
③在宅介護支援センターが併設され、ホームの開園と同時に、これらの事業も村の委託事業としてスタートしました。



デイサービス1日のスケジュール



日帰りコース
デイサービス事業
高齢者の多くは、住み慣れた地域で家族や顔見知りの人々とともに暮らしたいと願っています。
しかしながら女性の社会進出や核家族化の進行、高齢者の一人暮らしや二人暮らしの増加で家庭介護力は低下しています。
デイサービスは、このような状況にある高齢者や介護にあたる家族を支援する

事業内容

ための事業です。家族だけの介護力には限界があります。公的な介護サービスを上手に取り入れて、介護者のリフレッシュを時々図ることをおすすめします。

デイサービスは、在宅のおおむね六十五歳以上のからだの不自由な高齢者や虚弱な高齢者をリフトバスで送迎し、日常動作訓練や入浴、食事、リハビリ、レクリエーション、趣味活動等のサービスの提供し、日常生活の自立を助けるとともに、介護にあたる家族の負担軽減をめざした事業です。さらに、家族介護者教室を定期的開催し、家庭介護に関する学習と各種サービス利用方法について情報提供を図ります。

現在デイサービスセンターでは、車イスやベッドに寝たままでも利用できる専用リフトバス二台を運行し、利用者の皆さんを送迎しています。

また、寝たきり等のため、通所によるデイサービス利用が困難な場合には、移動

入浴車による、訪問入浴サービスを実施しています。自宅での入浴介護が困難な場合は、ぜひご相談ください。

利用方法

①申込場所

・蓬田村役場 福祉課

☎0174-27-2111

・在宅介護支援センター蓬生園

☎0174-27-3465

・デイサービスセンター蓬生園

☎0174-27-3445

・身近なところでは、ホームヘルパーや保健婦、民生

委員も申し込みの相談に応じます。

②提出書類

・デイサービス利用申請書
・診断書（デイサービス用）

③利用料

(1)通所事業

・一回 六〇〇円（給食代、入浴代、教材等原材料費）
ただし、本人負担は一回当たり三〇〇円とし、本人が直接施設に払います。残り三〇〇円については村が助成します。

(2)訪問入浴サービス事業

・利用料 無料

身近な相談窓口

在宅介護支援センター

介護を行っている家族等

が、身近なところで介護サービスについて相談できる場所が、在宅介護支援センターです。夜間等の緊急な場合でも、二十四時間体制で対応したり、サービス利用申し込みのお手伝いをします。支援センターには、さまざまな介護機器・用品の展示紹介もあり、使用方法の

指導や介護の仕方の相談に応じます。

支援センターの役割

①広報啓発活動

支援センターは、現在地域住民が利用可能な各種保健福祉サービスについての情報を把握し、積極的な利用について広報啓発を行います。

②適切な助言指導

高齢者やその家族の相談に対し、電話・面接等により総合的に応じ助言します。支援センターには看護婦とソーシャルワーカーの二人の職員が配置され、積極的に地域や家庭に向き、保健福祉サービスと住民を結びつける役割をはたしています。四月から村内全域の世帯訪問を行い、高齢者の状況把握を行うとともに、デイサービス等蓬田村で新しく始まった事業の紹介をしています。

③サービスの適用調整

相談者に対して、公的サービスの利用申請手続きの便宜を図るだけでなく、高齢者や家族にとってどのようなサービス、またはその組み合わせが適当であるか判断し、保健・医療・福祉にわたる機関と連絡調整を行い、サービス提供へつなげます。

④介護機器の展示と普及

介護機器を展示紹介するとともに、利用者の身体状況を踏まえた介護機器の選定、具体的な使用方法について、相談助言をします。高齢者の家庭内自立を高めるための住宅改造についても相談助言します。

第1回家族介護者教室

- 開催日時 平成9年5月17日（土）9:30～12:00
- 開催場所 デイサービスセンター蓬生園
- 参加申し込み 平成9年5月15日まで、電話で受付します。
☎ 0174-27-3445
- 内容 1)高齢者の食事について
2)地域福祉について

※ 教室終了後、入浴できますので、入りたい方はタオル等入浴の準備をしてきてください。
※ 当日、送迎車の運行はありません。



在宅介護支援センターでは、さまざまな介護用品を展示し、利用方法や購入についても相談に応じています。





健康 ひとくちメモ

風薫る五月、皆さん元気にお過ごしでしょうか。村内で、平成三年から七年までの五年間に亡くなった方は二百人あり、このうち脳卒中で亡くなった方が四十八人と死因のトップを占め、また、がんが四十六人、心臓病が四十人と、全死者中の約七割を三大成人病で占めていました。

検診での早期発見・早期治療で治るがん。今月は、がんの中でも「肺がん」について紹介します。

▼急増する肺がん

図1は、部位別のがんによる死亡率の推移をのせています。死亡総数については第二位の肺がんですが、男性の死亡者数では平成五年から第一位を占め、現在急増しています。いずれ死

亡者数・死亡率ともに男女あわせて第一位になると予想されています。死亡年齢別で見ると男女ともに七十代が最も多く、六十代・五十代と続くことから、肺がんは高齢者がかかりやすく発見が遅れがちという特徴があります。

平成元年度から始まった村の肺がん検診では、患者が数名発見されていますが、高齢のため手術治療までできなかったようです。当村の過去五年間のがんによる死亡者四十六人のうち、肺がんで亡くなった人が十二人(二十六%)で胃がんの十五人(三十三%)に次いで二位となっています。

▼肺門がんと肺野がん

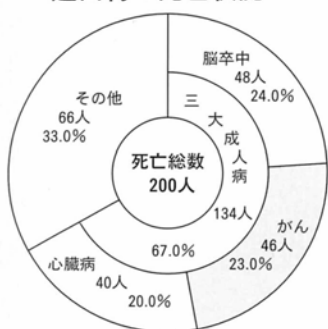
肺がんはできる場所によって肺門がん(主に気管支に近い部分にできるがん)と肺野がん(肺のすみずみまでできるがん)に大別されます。肺門がんは太い気管支にできるので咳や血痰が症状でかぜと間違いやすく、また、肺野がんは体の外へ症状が出にくいのが特徴です。そのため、肺門がんは、自覚症状や喀痰検査によっ

て発見される場合がほとんどです。肺は血管が多くりんパ系が発達しているために、他のがんに比べて転移しやすく、残念なことに約三分の二は手遅れの状態で発見されています。

▼タバコとがん

肺がんはタバコとの関係が深いようで、喫煙量が多いほど、また、吸い初めた年齢が若いほど肺がんの危険性が高くなります。「一日の喫煙本数×喫煙年数(例二十本×二十年＝四百)」が六百以上の人は、胸部写真と喀痰検査の二つを受ける必要があります。今年度は八月に総合健診を行いますので、タバコを吸わない人も高齢者も積極的に健診を受けるようにしましょう。

●平成3年～7年までの蓬田村の死亡状況



●食中毒にご用心!!●

◎腸管出血性大腸菌O-157をはじめとする食中毒が出はじめています。

皆さんの家庭から食中毒を出さないよう次のことに注意しましょう。

- ①清潔
 - ・調理をする時はまめに手洗いを
 - する
 - ・調理道具はよく消毒する
- ②迅速
 - ・食品は早めに調理する
 - ・食べ残しは思いきって捨てる
- ③加熱と冷却
 - ・生ものは新鮮なうちに食べる
 - ・生焼けのものは食べない
 - ・冷蔵庫を過信しない

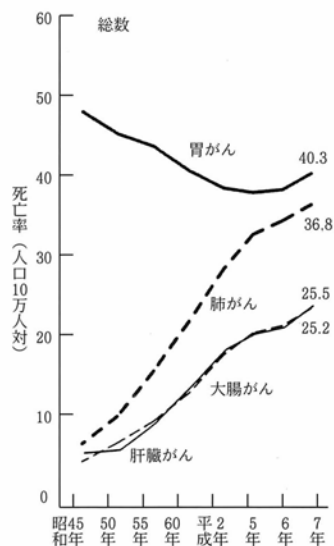
平成9年度 総合健診

肺・胃・大腸がん
基本健診
歯科健診
乳がん・子宮がん

- 8月4日(月)・5日(火)
- ※2日間に限り、乳がん、子宮がん検診を併設します。
- 8月7日(木)・8日(金)
- 以上の4日間、農業者トレーニングセンターで行います。事前に、各地区の保健協力員が皆さんのお宅に伺います。受診申し込みは各地区の保健協力員へ!

(図-1)

●主要臓器別がんの死亡率年次推移



(厚生省「人口動態統計」)

平成9年度自衛官等募集案内

◎お問い合わせ先

自衛隊青森地方連絡部 ☎0177 (35) 1751

青森募集案内所

蓬田村役場 総務課 ☎0174 (27) 2111

募集種目		募集人員	資格	受付期間	試験期日	
大卒等	幹部候補生	一般・技術	(男子)陸 約60名 海 約70名 (技術を含む) 空 約50名 (女子)陸 約8名 海 約5名 空 約5名	22歳以上 26歳未満の者 大学院修士課程修了者(海上技術幹部候補生志願者は、理工学課程修了者に限る。)及び自衛官は28歳未満	4月17日～5月23日	1次6月21～22日 (22日は飛行要員のみ) 2次7月22～24日
		医・歯薬剤	陸 } 海 } 空 } 約20名	専門の大卒(見込) 30歳未満の者 薬剤は26歳未満の者(薬剤修士取得者は、28歳未満)	6月2日～6月27日	7月25日
	貸費学生	衛生	陸 } 海 } 空 } 約10名	大学の歯学部歯学科の3～6年次又は大学院の歯学研究科在学 大学の理学部、工学部の3・4年次又は大学院修士課程在学	9年12月1日 ～10年1月30日	10年2月8日
		技術				
高卒等	防衛大学校学生	推薦	理工学専攻 約60名 (うち女子約5名) 人文社会科学専攻 約15名 (うち女子約5名)	高卒(見込) 21歳未満の者 推薦については高等学校長の推薦等、別途資格が必要です。	9月5日～9月10日	9月20～21日
		一般	理工学専攻 約315名 (うち女子約20名) 人文社会科学専攻 約70名 (うち女子約5名)	高卒(見込) 21歳未満の者 (自衛官は23歳未満)	9月16日～10月14日	1次11月15～16日 2次12月16～19日
	防衛医科大学校学生		約65名	高卒(見込) 21歳未満の者	9月16日～10月14日	1次11月1～2日 2次12月3～5日
	航空学生		海 約70名 (うち女子若干名) 空 約70名 (うち女子若干名)	高卒(見込) 21歳未満の者	8月1日～9月9日	1次9月23日 2次10月16～22日 3次(空)11月16日 ～12月12日
	看護学生		陸 約105名	高卒(見込) 22歳未満の女子	9月16日～10月14日	1次10月30日 2次11月23～26日
	一般曹候補学生		陸 約400名 (うち女子約36名) 海 約390名 (うち女子約25名) 空 約400名 (うち女子約20名)	18歳以上 24歳未満の者	8月1日～9月9日	1次9月21日 2次10月8～13日
	曹候補士		陸 約1,650名 (うち女子約100名) 海 約480名 (うち女子約20名) 空 約460名 (うち女子約20名)	18歳以上 27歳未満の者	8月1日～9月9日	1次9月21日 2次10月8～13日
	2等陸・海・空士	男子	約6,600名	18歳以上 27歳未満の者	年間を通じて行っております。	受付後に指定します。
		女子	陸 約360名 海 約60名 空 約90名	18歳以上 27歳未満の者	8月1日～9月12日	9月29～30日
	中卒	自衛隊生徒	陸 約250名 海 約60名 空 約50名	中卒(見込) 17歳未満の男子	11月4日 ～10年1月4日	1次10年1月5日 2次10年1月21～25日
免許取得者等	医科・歯科幹部	陸 約6名 海 約3名	医師・歯科医師の免許取得者	①4月14日～5月16日 ②10月13日～11月7日	①6月5日 ②11月27日	
	技術海上幹部	約4名	大卒38歳未満の者	6月2日～7月4日	7月31日	
	婦人自衛官(看護)	約10名	免許取得者 36歳未満の女子 免許取得見込者 33歳未満の女子	10月20日～11月10日	11月23～26日	
	技術海曹	大学・短大・高専卒の部	約30名	大学・短大・高専卒(見込)の者	6月2日～7月4日	7月31日
免許の部		1 無線通信士等の国家免許取得者 2 20歳以上の者				

4月から

保険料が変わります

国民年金の保険料が4月から月額12、800円に変わります。

国民年金が支給する年金は、加入者が納める保険料のほかに国が3分の1を負担して賄われています。

現在わが国では、高齢化が急速に進んでいるため、それに伴って増大する給付費（受給権者に支払う年金）を調達するためには、保険料を引き上げていかざるをえません。

また、年金制度を将来にわたって安定したものとすするためにも、段階的に保険料を引き上げていくことにより必要な財源を確保しながら、加入者に急激な負担の増を強いることのないようにしています。

国民年金制度が健全に運営され、世代間の公平な負担が保たれるよう、加入者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

「渡そうもらおう

手から手へ つなぐ信頼

家内労働手帳

5月21日から31日までは、家内労働法の周知徹底と家内労働者（内職者）の労働条件の向上と生活の安定を図るため、労働省主唱による家内労働旬間です。

委託者は、家内労働手帳を交付し、最低賃金を守りましょう。

内職者は、家内労働手帳の受領と記入事項の確認をしましょう。

なお、旬間中、青森労働基準局では家内労働相談コーナーを設けて、相談に応じます。

【お問い合わせ先】

青森労働基準局 賃金課

☎0177-34-4111

(内線 24、25)



報

局

情

お知らせ



行政相談を

ご利用ください

わたしたちの日常生活で、行政が行う仕事について苦情や要望、意見があるとき、もっとも身近な相談相手になるのが、行政相談委員です。

相談は無料で、口頭や電話、手紙でもかまいません。内容は行政に関するものであればどんなことでもよく、相談を受けた委員は、秘密を守って親切にお世話します。

また、受けた相談は、それぞれの事例や寄せられた意見を、その後の行政運営に生かすという、大切な役割も担っています。



行政相談委員

森 清秀 (阿弥陀川)

☎01774-2713097

安全な農作業をするために

無理せず

機械操作は 慎重に

春の農作業が忙しくなるこの時期は、毎年、農作業中の事故が多く発生しています。農作業中の死亡事故は年間350〜400件も発生しており、4月から5月の2か月間でその4分の1を占めています。

事故で特に目立つのは、トラクターやコンバインなどの機械の操作中に起こる事故で、全体の約7割を占めています。乗用型トラクターの転落・転倒、歩行型トラクターでの挟まれ事故などが直接の原因です。

年齢別にみると、農業従事者の高齢化に伴い、高齢者の割合が多くなっており、60歳以上の死亡事故は全体の約7割にも上ります。

このような農作業事故を防ぐには、作業前に機械の点検・整備、資材の準備を整え、計画的な作業を心掛けること、慣れた作業や機械の扱いでも油断しないこと、自分の体調や体力を考慮して無茶をしないことが、大事です。

水道課を新設

人事異動 4月1日付

村では、サービス向上や事務処理の効率化、新しい行政需要への対応などのため、4月1日から組織機構の改正を行いました。主な変更点として、水道

課を新設し、簡易水道、下水道事業関係を行います。また、教育委員会事務局（教育長、学務課、社会教育課）が役場から中央公民館に移動しました。

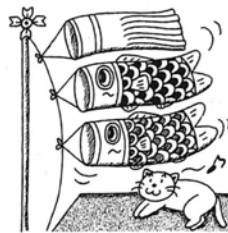
- ▼水道課長 小松 公紀 (保育所長)
- ▼保育所長 佐藤 洋子 (住民課課長補佐)
- ▼住民課課長補佐 坂本 万蔵 (社会教育課課長補佐)
- ▼社会教育課課長補佐兼中央公民館館長補佐 越田 守 (中央公民館館長補佐)
- ▼農業委員会主幹 坂本 イン子 (中央公民館主幹)
- ▼総務課主幹 森 喜寿郎 (議会事務局主幹)
- ▼議会事務局主幹 芳賀 作 (総務課主幹)
- ▼水道課水道係長 坂本 亮 (農林水産課農政係長)
- ▼中央公民館主査 三上 あけみ (幼稚園教諭)
- ▼総務課運転手 久慈 一成 (新採用)
- ▼退職 (3月31日付) 稲葉 孝太郎 (総務課課長補佐)

テレホンガイド

●	役 場	27-2111	保 育 所	27-2180	●
	中央公民館	27-2076	幼 稚 園	27-2042	
	トレセン	27-3010	小 学 校	27-2069	
	野 球 場	27-3090	中 学 校	27-2038	
	よもぎ温泉	27-2170	社会福祉協議会	27-2828	
	教育委員会	31-3200		27-2077	
	FAX	31-3201			
●					●

5 MAY

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



こどもの日 (5月5日)

5月行事予定表

開催日	曜日	行 事 名	場 所	時間	担 当
1	木	乳児健診	中 央 公 民 館	13:00	福 祉 課
6	火	陶芸教室	〃	9:00	中央公民館
11	日	東青地区子ども会総会	〃	9:30	〃
12	月	書道教室	〃	13:30	〃
13	火	陶芸教室	〃	9:00	〃
19	月	書道教室	〃	13:30	〃
20	火	陶芸教室	〃	9:00	〃
25	日	蓬田中学校運動会	村総合グラウンド	8:30	蓬田中学校
26	月	書道教室	中 央 公 民 館	13:30	中央公民館
27	火	陶芸教室	〃	9:00	〃

戸籍の窓



人口と総世帯
(3月31日現在)

総人口 3,739人
男 1,797人
女 1,942人
世帯数 1,043世帯

2・3月受付分

お誕生おめでとうございます

川崎 慎平 (貴史 長男
みか子)

ご結婚おめでとうございます

坂本 孝麿 (中 沢)
西野 和美 (平 館 村)
磯部 寛 (阿弥陀川)
中村 祐子 (蓬 田)
細谷 忠彦 (蓬 田)
塚本由美子 (むつ 市)

おくやみ申し上げます

細谷 忠正 (蓬 田 39歳)
中村 エス (蓬 田 86歳)
泉 憲光 (中 沢 44歳)
福井 きそ (郷 沢 78歳)
坂本 清廣 (中 沢 74歳)



トマト等のハウス団地完成

中沢地区に20棟

複合経営を目指し、昭和四十八年からトマト栽培を行ってきました。

この間、栽培農家の努力により、作付面積も年々拡大し、平成六年度では、販売量が県下第一位になっており、蓬田村の「桃太郎トマト」は県内外から高い評価を得ています。

しかし、ビニールハウスの老朽化や連作障害などにより、平成七、八年は販売量が低迷し、県下第五位になりました。そこで、農家負担を少な

くして収穫量・収入増を図るため、村と農協が協力し、ハウスの団地化による適正な使用を目的に、貸し付けをすることになりました。

今年、中沢地区に二十棟(一棟、一一二坪)のハウスを建設し、村内から希望農家を募り、利用者が決定、すでに作業が始まっています。

村は、今後も複合経営を積極的に推進し、トマトや花き、畜産その他の作物の振興に取り組んでいく計画です。



み〜つけた

107

4月16日、玉松園カントリーパーク古城の沼で見つけました。

雪の下でずっと春を待ち続けていた、水芭蕉とふきのとうが一緒に花を咲かせていました。

これから、あざみ・タラの芽・ささ竹の子など山菜の季節です。山菜採りにも十分な装備で。

編集後記

春はあけぼの

※夜がほのぼのと明けるころ春、新しい生活のスタート。

トゲクリガニ、シロウオやアザミ、ウド、竹の子などの山菜、そしてお花見。

広報の発行が遅れ、4・5月合併号になったことをお詫びします。

広報担当2年目、打率10割の夢は、はかなくも消えましたが、内容の充実を目指して頑張ります。

みなさんの身近な話題、写真など何でも結構です、企画課までお知らせください。